

既設昇降機安全確保緊急促進事業 第3回応募提案の評価について

1. 応募状況

既設昇降機安全確保緊急促進事業は、既設エレベーターの防災対策改修（戸開走行保護装置の設置、P波感知型地震時管制運転装置の設置、主要機器の耐震補強措置に係る改修をいう。以下同じ。）についてモデル性を有した事業を支援することにより、緊急的に既設エレベーターの安全確保の促進を図ることを目的としている。

本事業では、平成24年12月19日（水）から平成25年1月18日（金）までの間に第3回募集を行い、事業者3社より6件の応募があった。このうち、「システム提案」が6件、「個別提案」が0件であった。

2. 評価の経緯

応募のあった6件の提案について、それぞれの提案の特徴の把握やモデル性に関する提案の妥当性など評価が必要と考えられる事項の抽出等を行った。

提案内容の評価は、一般社団法人すまいづくりまちづくりセンター連合会に設置した「既設昇降機安全確保緊急促進事業評価委員会」で実施し、別紙のとおり3件の提案を既設昇降機安全確保緊急促進事業としてモデル性を有した事業として評価した。

3. 総評

既設エレベーターの防災対策改修を効率的に行うためには、既設部品を活用しつつ改修を行うことが有効である。前回同様、既設の巻上機を流用しつつ待機型ブレーキを追加設置したり、既設の制御盤を活用しつつ戸開走行保護装置用の専用制御盤を追加設置するなど、改修を目的とした技術開発を行っている提案については、費用の削減・工事の円滑化に効果があるものとして優位に評価した。

また第3回募集においては、前回までに提案が少なかった油圧式エレベーターに逆止弁を追加する提案が多かった。これらについて、既設油圧式エレベーターの継続使用はロープ式エレベーターへの一式交換と比較してコストも低減でき、防災対策改修の普及促進に一定の効果があるものとして評価した。

第3回募集において費用削減や、工事の円滑化等に関する具体的な提案として高く評価した内容は次のようなものである。

- 油圧式エレベーターにおいて逆止弁を設置する事で、既設制御盤、モーターを流用する事により費用の低減を図っているもの。
- 油圧エレベーターの改修で不要となった機械室を防災対策用の倉庫として活用するもの。
- 安全性の確保がなされていることが前提となるが、建築物の利用者の負担を軽減するためエレベーターの連続停止の時間をフレキシブルに設定する具体的な提案があるもの。
- 交換後の巻上機および制御盤を用いて、本体かごを作業床として活用する施工方法により工期短縮を図っているもの。

既設昇降機安全確保緊急促進事業において補助採択した提案に関する評価の概要
(五十音順)

油圧式エレベーター防災対策工事②
東芝エレベータ株式会社
<p>自社油圧式 EV に逆止弁と UCMP 専用制御盤を設置するもので、既設制御盤、モーターを流用する事による費用の低減を図っている。また、既存利用、フレキシブルな工程により完全停止期間を全工程 6 日間で 4 日間とできる。</p>
油圧式エレベーター防災対策改修工事①
フジテック株式会社
<p>自社油圧 EV に逆止弁の設置と制御盤の一式交換を実施する提案である。機械室なしエレベーターへの交換による常時作動型二重ブレーキ化と比較して費用低減を実現している。また、工程を柔軟に組める事により、利用者への利便性向上が可能。</p>
機械室なしエレベーター防災対策改修工事⑨
フジテック株式会社
<p>設置後 14 年以内の二重ブレーキ設置済みの機械室なしエレベーターを対象に、既設巻上機・制御盤を活用した提案である。巻上機の一部改造、UCMP 専用制御盤の追加のみで UCMP 回路が構成できるため、低価格かつ短工期で改修できる。また、工程を柔軟に組める事により、利用者への利便性向上が可能。</p>